

JR連合関東地方協議会 34回定期大会を開催



挨拶する今井議長（東海ユニオン）

8月27日(水)、田町交通ビル(都内)において、JR連合関東地方協議第34回定期委員会が開催され、加盟単及びグループ労組組合員が参加し、貨物連合から関東地区本部・南関東ロジ組合員が参加しました。

渡辺副議長(東海ユニオン)の進行で始まり、主催者を代表し挨拶に立った今井議長(東海ユニオン)は、参議院選挙の総括をはじめとした、これまでの取り組み成果を述べたあと、JR産業において、感電・熱中症の死亡労災が連続して起きてしまったことを危惧され、安全最優先の取り組みを今一度見直す必要があることを言及し、組織や政策課題を含めながら、2026春闘を含めた今後の課題、取り組み方針について述べられました。

来賓挨拶では、JR連合谷口局長より、関東地方協議会に対する激励を述べられたあと、JR連合の取り組みを講演をし、その後、執行部より、これまでの活動経過報告、2024年度決算、2025年度活動方針(案)、2025年度予算(案)を提起し、質疑の後、満場一致で今後の運動方針案が可決されました。

なお、役員改選では、鈴木副議長(関東地本部)、松田常任委員(南関東ロジスティックス労働組合)が、再選されました。